

## 正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申し上げます（2022年1月7日）

### ■第2版 第3刷（2020年8月20日発行）の修正・更新箇所

※第1刷からの修正箇所は[https://www.yodosha.co.jp/correction/9784758120838\\_corrections.pdf](https://www.yodosha.co.jp/correction/9784758120838_corrections.pdf) をご参照ください

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
<b>1章</b>					
25	本文下から7行目	基本的に二倍体で増える	大部分が二倍体で増える		21/12/10
<b>2章</b>					
40	図2-9		ニックとギャップの吹き出しの右側にそれぞれリン酸基(黄色丸)を加える	※1を参照	21/05/21
40	本文下から1行目	リン酸基が2個少ないdNMTを	リン酸基が2個少ないdNMPを		21/09/10
43	「memo」上から2行目	エンド(end)は核酸の内部を	エンド(endo)は核酸の内部を		21/12/10
<b>3章</b>					
58	「Column」右4行目	各世代ごとに新生される.	世代更新ごとに新生される.		21/12/10
59	本文上から6行目	複数のsnRNA(低分子核内RNA)	複数のsnRNA(小分子核内RNA)		21/12/10
<b>6章</b>					
103	表6-2上から10行目	真核生物	脊椎動物		21/12/10
<b>8章</b>					
133	本文8行目	DYKDDDDL	DYKDDDDK		21/09/10
<b>9章</b>					
145	図9-9		下記の模式図にDpn I 認識部位(紫丸)を追加 1)「プライマーのアニール」の下 2)「DNA合成」の下 3)「変性後再アニールさせる. その後Dpn I で消化する」の上3つ	※2を参照	21/12/10
<b>12章</b>					
185	本文下から7行目	1回の運転で0.5~10万塩基	1台・1回の運転で0.5~10万塩基		21/12/10
<b>14章</b>					
215	図14-8	DNAポリメラーゼ	RNAポリメラーゼ		22/01/07

#### 図表

※1



